平成25年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月7日

上場会社名　日本フェンオール株式会社　　上場取引所　大
コード番号　6870　URL　http://www.fenwal.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 井口　雅雄
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理統括部長　(氏名) 高田　忠夫　TEL 03-3237-3561

四半期報告書提出予定日　平成25年5月8日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第1四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第1四半期	4,504	5.3	411	42.4	449	△2.1	305	4.9
24年12月期第1四半期	4,276	20.8	288	52.1	459	132.1	291	―

(注)包括利益　25年12月期第1四半期　442百万円　(10.3%)　24年12月期第1四半期　401百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第1四半期	51.90	―
24年12月期第1四半期	49.47	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年12月期第1四半期	13,978	6,542	46.8	1,110.24
24年12月期	12,875	6,311	49.0	1,071.07

(参考) 自己資本　25年12月期第1四半期　6,542百万円　24年12月期　6,311百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	―	0.00	―	36.00	36.00
25年12月期	―				
25年12月期(予想)		0.00	―	27.00	27.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無
(注)24年12月期期末配当金には、特別配当9円が含まれております。

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,723	△0.5	601	△11.6	652	△22.6	430	△15.9	72.97
通期	18,406	11.8	1,182	20.9	1,253	1.9	782	0.4	132.71

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、[添付資料]P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期1Q	5,893,000 株	24年12月期	5,893,000 株
② 期末自己株式数	25年12月期1Q	237 株	24年12月期	237 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期1Q	5,892,763 株	24年12月期1Q	5,892,835 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融緩和や経済政策への期待感から円安基調で推移したほか、株価の回復など一部に明るい兆しはみえたものの、実体経済への影響、また、海外経済の動向に関する懸念もあり、依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような事業環境の下、当社グループにおきましては、差別化された高付加価値製品の開発に注力し、市場競争力を高めるとともに、アジアを中心とする海外市場への拡販準備も進めてまいりました。生産拠点である長野工場におきましては生産性向上を目的とした部門横断のタスクチームを中心とし、工程改善活動、原価低減活動に積極的に取り組んでまいりました。

以上の結果、受注高は5,110百万円(前年同四半期比18.9%増)、売上高は4,504百万円(前年同四半期比5.3%増)となりました。

利益面におきましては、高付加価値製品の売上増加等にともない、売上総利益が増加したことにより、営業利益は411百万円(前年同四半期比42.4%増)となりました。経常利益につきましては、当第１四半期連結会計期間末において円安傾向であったこと及び為替予約の実施等により41百万円の為替差益が発生し449百万円(前年同四半期比2.1%減)、四半期純利益につきましては、305百万円(前年同四半期比4.9%増)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

SSP (Safety Security Protection) 部門

防災設備業界におきましては政府の打ち出す様々な経済再生政策への期待感から、公共投資や民間設備投資は活況を呈し回復基調にあるものの、受注獲得競争が更に激化するなど、厳しい環境のまま推移いたしました。

このような環境の下、得意分野であるガス消火設備や特殊防災設備を中心に積極的な営業展開を行ってまいりました。また、既設の消火設備用ボンベの定期点検要領改正にともなう、容器弁交換需要も順調に推移いたしました。

以上の結果、受注高は2,000百万円(前年同四半期比70.9%増)、売上高は1,341百万円(前年同四半期比3.7%増)となりました。

サーマル部門

当該部門の主要取引先である半導体業界はパソコンやデジタル家電の需要が依然として低迷を続けていることから、デバイスメーカーの設備投資が抑制され、その結果半導体製造装置の需要も減少いたしました。これらの影響により、当該部門の主力製品でありますセンサー、熱板等の出荷が減少いたしました。

以上の結果、受注高は241百万円(前年同四半期比27.6%減)、売上高は248百万円(前年同四半期比24.5%減)となりました。

メディカル部門

当該部門の主力製品である海外向け人工腎臓透析装置は、混沌とした市場環境の影響により、直近での受注は若干減少したものの、市場流通在庫の減少に伴い、販売元から代理店への出荷が増加いたしました。

以上の結果、受注高は425百万円(前年同四半期比6.0%減)、売上高は402百万円(前年同四半期比20.6%増)となりました。

PWBA (Printed Wiring Board Assembly) 部門

プリント基板の実装と組立てが主体の当該部門におきましては、主要顧客である事務機器業界の中国における需要が堅調に推移したことから、海外子会社である日本芬翁(香港)有限公司からの出荷が増加いたしました。

以上の結果、受注高は2,442百万円(前年同四半期比4.4%増)、売上高は2,511百万円(前年同四半期比8.3%増)となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末の資産合計は、13,978百万円となり、前連結会計年度末12,875百万円に比べ1,102百万円(8.6%)増加しております。主な増加要因は「受取手形及び売掛金」の増加744百万円(22.6%)、「現金及び預金」の増加392百万円(10.4%)によるものであります。

負債総額は、7,436百万円となり、前連結会計年度末6,564百万円に比べ872百万円(13.3%)増加しております。主な増加要因は、「短期借入金」の増加603百万円(53.2%)、「支払手形及び買掛金」の増加454百万円(15.8%)によるものであり、主な減少要因は「未払法人税等」の減少265百万円(64.9%)によるものであります。

純資産合計は、6,542百万円となり、前連結会計年度末6,311百万円に比べ230百万円(3.7%)増加しております。主な増加要因は四半期純利益305百万円であり、主な減少要因は配当金の支払212百万円であります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年12月期の連結業績予想につきましては、平成25年２月13日に公表いたしました連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、平成25年５月１日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成25年１月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第１四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,794,321	4,187,150
受取手形及び売掛金	3,296,451	4,040,642
電子記録債権	98,030	100,435
完成工事未収入金	482,368	754,062
有価証券	199,649	－
製品	424,084	295,924
仕掛品	299,271	346,305
原材料	1,463,721	1,458,934
未成工事支出金	646,425	562,603
その他	85,069	94,288
貸倒引当金	△9,987	△11,742
流動資産合計	10,779,407	11,828,605
固定資産		
有形固定資産	888,010	868,879
無形固定資産	75,102	69,811
投資その他の資産		
投資有価証券	823,925	946,036
その他	376,433	293,723
貸倒引当金	△66,939	△28,172
投資その他の資産合計	1,133,419	1,211,587
固定資産合計	2,096,531	2,150,278
資産合計	12,875,939	13,978,884
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,872,439	3,326,451
工事未払金	350,245	412,443
短期借入金	1,132,900	1,736,085
1年内返済予定の長期借入金	66,666	66,666
1年内償還予定の社債	165,000	168,000
未払法人税等	408,695	143,324
賞与引当金	－	87,158
役員賞与引当金	－	4,000
その他	659,359	687,898
流動負債合計	5,655,305	6,632,026
固定負債		
社債	286,500	201,000
長期借入金	66,668	66,668
役員退職慰労引当金	73,338	57,987
退職給付引当金	445,763	444,915
資産除去債務	22,636	22,636
その他	14,159	11,278
固定負債合計	909,065	804,484
負債合計	6,564,370	7,436,510

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第１四半期連結会計期間 (平成25年３月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	996,600	996,600
資本剰余金	1,460,517	1,460,517
利益剰余金	3,728,558	3,822,251
自己株式	△145	△145
株主資本合計	6,185,530	6,279,223
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	113,095	191,534
為替換算調整勘定	12,942	71,615
その他の包括利益累計額合計	126,038	263,150
純資産合計	6,311,568	6,542,373
負債純資産合計	12,875,939	13,978,884

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年３月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年３月31日）
売上高	4,276,458	4,504,689
売上原価	3,440,684	3,600,560
売上総利益	835,773	904,129
販売費及び一般管理費	546,857	492,633
営業利益	288,916	411,495
営業外収益		
受取利息	2,681	1,563
受取配当金	539	478
為替差益	73,172	41,413
製造販売権譲渡益	100,000	－
その他	384	686
営業外収益合計	176,777	44,142
営業外費用		
支払利息	6,066	5,694
貸倒引当金繰入額	16	－
その他	396	520
営業外費用合計	6,479	6,214
経常利益	459,214	449,422
特別利益		
固定資産売却益	810	－
特別利益合計	810	－
特別損失		
固定資産除却損	5	－
特別損失合計	5	－
税金等調整前四半期純利益	460,019	449,422
法人税、住民税及び事業税	215,186	150,046
法人税等調整額	△46,673	△6,455
法人税等合計	168,512	143,590
少数株主損益調整前四半期純利益	291,507	305,832
四半期純利益	291,507	305,832

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年３月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年３月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	291,507	305,832
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	85,076	78,438
為替換算調整勘定	25,052	58,673
その他の包括利益合計	110,129	137,112
四半期包括利益	401,636	442,944
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	401,636	442,944

（3）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（5）セグメント情報等

Ⅰ 前第１四半期連結累計期間（自 平成24年１月１日 至 平成24年３月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額(注)２
	ＳＳＰ部門	サーマル部門	メディカル部門	ＰＷＢＡ部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,293,541	328,716	334,076	2,320,123	4,276,458	－	4,276,458
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	1,293,541	328,716	334,076	2,320,123	4,276,458	－	4,276,458
セグメント利益	211,542	4,693	34,139	169,610	419,985	△131,069	288,916

（注）１ セグメント利益の調整額△131,069千円は、全社費用であり、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。
２ セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第１四半期連結累計期間（自 平成25年１月１日 至 平成25年３月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額(注)２
	ＳＳＰ部門	サーマル部門	メディカル部門	ＰＷＢＡ部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,341,712	248,328	402,933	2,511,714	4,504,689	－	4,504,689
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	1,341,712	248,328	402,933	2,511,714	4,504,689	－	4,504,689
セグメント利益	274,901	31,649	42,685	182,016	531,252	△119,757	411,495

（注）１ セグメント利益の調整額△119,757千円は、全社費用であり、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。
２ セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。